

牽牛子塚古墳(高市郡明日香村)

正面が牽牛子塚古墳/版築によって築かれた二段築成の八角形墳/7世紀後半頃の築造



「史蹟牽牛子塚古墳」と記された標柱が立っている



墳丘の一部はシートで覆われている



こんな塩梅



説明坂がある



石槨の構造、夾紵棺、古墳の位置等から天皇家を含めてその一族に連なる被葬者が推定されており、齊明天皇と間人皇女の合葬墓ではないかと云う

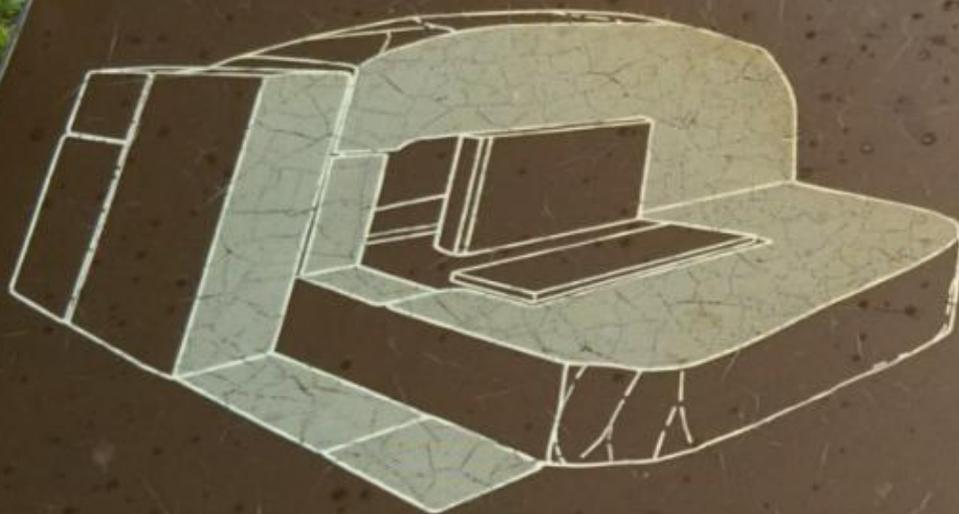


埋葬施設は二上山の巨大な一個の凝灰角礫岩を刳り貫いた横口式石槨で中央の間仕切り壁で左右二室に造られている/天井は緩やかなドーム状の曲面をなしている/壁面には漆喰が塗布されている/床面には棺台が削り出されている

解 説

史跡 牽牛子塚古墳

「万葉集」に多く詠れた真弓丘陵の一面に位置している。墳丘は版築によって築成されている。墳丘の北西部に花崗岩の切石3個が露出しており、これを外護



「飛鳥時代の古墳」より転載

石室内部

列石とする二段築成の八角形墳の可能性が強い。墓室は巨大な凝灰岩をくり抜いた横口式石槨で、中央部に間仕切り部を削り出す二室の複室構造をしており、当初から追葬を意識して石槨を製作したものと考えられる。それぞれの石室の床には長さ1.9m、幅0.8m、高さ0.1mの低い棺台を削り出す。夾紵棺きょうちゆうかんの破片や七宝金具などが出土し重要文化財に指定されている。

高市郡明日香村大字越

ここがその石室の入口



中央が間仕切りで左右二室に造られている



左手の石室内を見たところ/壁面には漆喰が塗布されていたと云う



同じく右手の石室内を見たところ/床面には棺台が削り出されている



上を見上げると、天井は緩やかなドーム状の曲面をなしている



越塚御門古墳と牽牛子塚古墳の案内写真/隣接、南東側で割り貫き式横口式石槨の越塚御門古墳が発見され、皇孫の大田皇女の陵ではないかと云う



参考ホームページ

<https://www.asukanavi.jp/point.php?pid=3>

https://asukamura.jp/chosa_hokoku/kengoshizuka/kengoshizuka.html

<http://inoues.net/ruins2/kengosi.html>

https://74589594.at.webry.info/201703/article_1.html

<https://narayado.info/nara/kengoshizuka.html>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2016/03/08/000000>

<https://lunabura.exblog.jp/15138305/>

<http://small-life.com/archives/14/05/2520.php>

<https://ameblo.jp/shimonose9m/entry-12308782174.html>

<http://tsu-com515.my.coocan.jp/Kengoshizukakofun.html>

<http://www.rekitan.co.jp/styled-2/styled-20/blog-2/files/0c1c4943c7d644ef6f063d6789b8cdc2-18.html>

